

山行報告書

(2014.03.26改訂)

| | | | |
|----|---------------------------------|-----|--|
| 日時 | 2014年6月29日(日) | | |
| 山名 | 六ヶ岳(むつがたけ) 《登山学校・読図とコンパスの使い方講習》 | | |
| CL | 阿部 哲之助 | 参加者 | 吉永、秋山、吉田、三ノ宮、加来、熊谷、野見山、松岡、阿部 (想山会 田中、鮎川) (総勢11名) |

HP記載の有無：有

(コース)

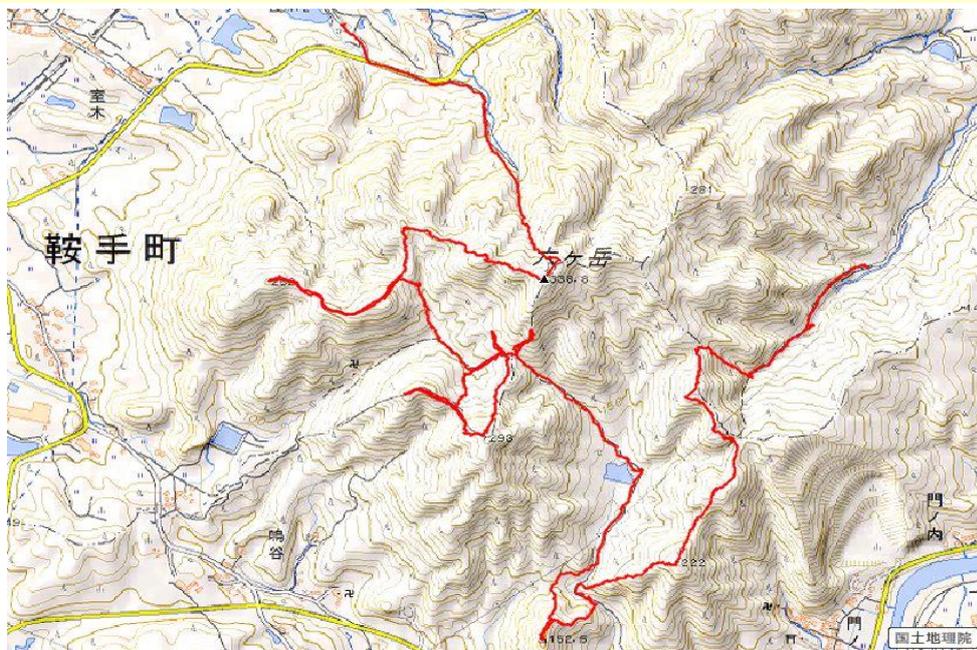
【Aグループ】

歩行距離 8.9km 行動時間 7:54 標高差+989 -1033

直方登山口10:00~125 10:16~220 10:30/42~千歳松の峯10:46~204 10:58/11:00~龍ヶ岳北峯11:24
 ~龍ヶ岳11:42/57~渡渉12:23~猿田山12:33/13:01~道路出合13:09~宮田登山口13:13~125 13:15
 ~267 13:35~221 13:45~195 13:54~240 14:08~高祖の峰14:23~240 14:27~260 14:37
 ~出穂の峰14:42~221 15:02/09~198 15:12~180 15:17~210 15:28~229 15:33~崎門の峰15:38
 ~天冠の峰15:47~崎門の峰15:59~229 16:06~250 16:16~羽衣の峰16:29~羽衣の峰東峰16:37
 ~旭岳16:39/17:26~長谷登山口17:47~駐車場17:54

【Bグループ】

直方登山口9:55→125 10:05→204 10:30/11:20→龍ヶ岳11:50/58→猿田山12:40/13:00
 →宮田登山口13:30→221 13:50→出穂の峰14:10→260 14:25→240 14:35→高祖の峰14:45
 →240 14:50→195 15:00→180 15:08→210 15:15→229 15:20→崎門の峰15:30→天冠の峰15:42
 →229 15:50→250 16:00→羽衣の峰16:20→旭岳16:30/17:25→長谷登山口17:45



続く

続き

(コメント1)

地図読み講習は数年前前にモンベルイベントで簡単に受けたことはありました。
しかし、実際これまでの山行では登ることに精一杯で地図を開く機会が殆ど無かったと思います。
今回の講習でポイントごとに立ち止まり現在位置や進行方向、時間を確認しながら
解りやすく教えてもらう機会を与えてもらったことは幸運でした。(藪ごぎはきつかったけど。)
今回の講習で、山への好奇心がもっと広がり、今後の山行にも学んだことを積極的に
使いたいと思いました。(記 加来)

(コメント2)

今回、六ヶ岳読図、コンパスの使い方講座に参加させて頂きました。
勉強不足のためしょっぱなから反省ばかり。
1.事前に指示された地図を持参しなかったこと。
磁北線や縮尺がはいった調査図じゃないと方向や距離がわからない。
2.地図で割り出した距離を時間に換算。
日頃、時計を見ずに考えなしで歩いているので検討もつきませんでした。
歩き100m→3分それを踏まえて登り下りを考慮する。
3.地図から地形を想定する。猪突猛進型の私にはとても重要だと思いました。
回り見て観察しながらコンパスの示す方を見る。
講師の阿部さん、ご一緒させて頂いたみなさん。ありがとうございました。(記 野見山)

(コメント3)

ポイント毎にメンバーを交代しての、読図でした。
高度・距離・時間・地形を確認しながら歩くことができ、とても参考になりました。時間はかかりましたが、
最終的に六ヶ岳の山頂に登ってからは山座同定とクロスベアリングを教わり、勉強になりました。
時間を意識するあまり私自身に余裕がなく、ご一緒して下さいた皆さまには凄く助けて頂きました。
今後の山行でも活用して、少しずつでも読図に慣れていきたいです。
相談役のお二方をはじめ、参加された皆さま、お疲れ様でした。ありがとうございました。(記 熊谷)

(コメント4)

先月の県連主催「ハイキング講座:地形図の読み方、コンパスの使い方」に続くお勉強です。
このところ 真面目にお勉強してきたので、「コンパス?もう大丈夫!」と思っていたのですが、
わたしが出来ると思っていたのは、単なる方角を知るということだけ..
地図を見て「地形」を読むということが、まだまだ出来ないということを知られました。
しかも 今回の山には「道らしき道がない!」
コンパスで方角を確認しながらも、視線は赤いテープ(新道は青いテープ)を探しています。
自分が先頭を歩く時には、「テープ!どこ~?」などと口に出していたりしました。
それから、吉永会長から「迷った時は谷ではなく尾根に出ることが大切であること」を教わりました。
自分では 尾根道を下っているつもりなのに、いつの間にか谷へ向かっている。
日常生活では、思い込みの激しい性格ですが、山の中では慎重にならなくてはと思いました。(記 吉田)

(コメント5)

地図読みを目的にした山行は新鮮な喜びがありました。学んだことと反省です。
1. 事前準備では地形図と等高線が記載されている地図にルート図と主要ポイントに標高を書き込む。
2. 登山中には
・ 地形図、ルート図、コンパス、(高度計)筆記用具を準備
・ 開始地点で位置、標高を確認する

続く

| | |
|----------------|---|
| <p>続き</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 次ポイントまでの方位、距離、所要時間(100mを3分)を確認する。 併せて、地形を読む(尾根、谷、登り、下り) ・ 到達ポイントまでの方位を覚えておく (次ポイントまでのルート間違いがあった場合正規ポイントに戻るため) ・ コンパスで進行方位を確認する <p>3. 山座同定、クロスベアリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 磁北線はコンパス短辺幅より細かく書いておく(コンパス磁北線と地図を正確に合わせるため) ・ 体をしっかり固定する(コンパスがぶれないように) ・ コンパスで遠景目標物を正確に合わせる練習 <p>地図、コンパス、高度計をを億劫がらずに、さりげなく使えるようになりたいものです。 (記 想山会 田中)</p> |
| <p>(コメント6)</p> | <p>今回 高度確認しながらコンパスを使い 次の目的地までの距離、歩行時間を吉永会長から教えて頂いたのが良かったです。また 山頂での山座同定はこれからの課題にします。</p> <p>何時も快く参加をさせて頂いて厚くお礼申し上げます。 (記 想山会 鮎川)</p> |
| <p>費用概算</p> | |
| <p>(交通費)</p> | <p>鞍手登山口まで各自集合 (3人同乗の場合ひとりあたり¥1,500くらい)</p> |
| <p>(その他)</p> | <p>温泉: 脇田温泉(宮若市) 喜楽荘(0949-54-0611) 日帰り入浴可¥500</p> |